

第44回「電子機器および電子デバイス 関連の動向」講演会

■主 催：半導体調査統計専門委員会

■担当部署：電子デバイス部（半導体G）

■参加者数：約80名

概 要

当協会の半導体調査統計専門委員会（柳澤元廣委員長・セイコーエプソン）では、9月1日経団連会館において、44回目となる「電子機器及び電子デバイス関連の動向」講演会を開催しました。講演会は、毎年2回実施しており、今回は、次の3つのテーマで、それぞれ専門家の皆様にご講演をいただきました。

1. 「スマートホン市場の現状と将来見通し」

スマートホンについての今後のトレンドやスマートホン（ロードマップ）、スマートブック、機能のトレンドなどの市場動向と展望についての解説を、二人の講師の方によりご講演いただきました。

2. 「半導体市場と環境分野の最新動向」

世界経済情勢、コスト分析、パラダイムシフトなど

に関する独自レポートから個別最適だけでなく全体最適化を考慮した構造変化を見ての自らの判断が重要との調査資料に基づいたご講演をいただきました。

3. 「ハイブリッドカー、電気自動車（HEV、PHEV、EV）の動向」

今後の普及が見込まれるハイブリッドカーや電気自動車に関する技術や背景となる産業環境の最新動向とともに将来に向けた技術、進展や今後の進展予測などについてのご講演をいただきました。

いずれも、さらなる活力を求めていたる、厳下の日本の産業界への参考となる示唆に富む各ご講演をいただき、多数の熱心な聴講のもとで盛会のうちに終了しました。

プログラム

○「スマートホン市場の現状と将来見通し」

台北市コンピュータ協会（台北市電腦商業同業公會）

Taipei Computer Association 東京事務所

駐日代表 吉村 章氏

エムアンドエムリサーチインク 代表 橋本清治 氏

○「半導体市場と環境分野の最新動向」

日興シティグループ証券株式会社 株式調査部

ディレクター 金澤洋平 氏

○「ハイブリッドカー、電気自動車（HEV、PHEV、EV）の動向」

電気通信大学 電気通信学部システム工学科

教授 新 誠一 氏

